

ABE KOGYO

施工説明書

施工業者様用

カルモ

ナチュラル

ヴィンテージ

calmo/Natural Vintage

物入収納 両開

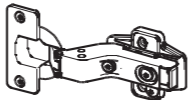
このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

！ 施工にあたってのご注意

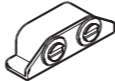
- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 室内専用です。屋外や浴室に使用しないでください。
- 使用しますと腐れ、割れ、ねじれ、反り等の不具合が発生します。
- ビス穴加工以外の扉・部材等にビスを取付ける時は、リード穴をあけてビスを取付けてください。割れ等の原因となりビスの効きが減少し、不具合の原因となります。
- 照明灯等の熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。
- 施工完了まで、水平になるように保管してください。水平でないと反り等の原因となります。

部品構成

部 品 名		数量		
		FH 900 FH 1200	FH 1840 FH 2047	FH 2340
ユニット	縦枠（左右）	2	2	2
	上枠	1	1	1
	下枠	1	1	1
	スライド丁番	4	6	8
	マグネットキャッチ	2	2	2
	右扉	1	1	1
	左扉	1	1	1
部品	ハンドル（ビス付）	2	2	2
	穴キャップ φ13	6	8	10
	躯体取付ビス 4.2×62	4	4	4
	RD調整ビス 4.5×47	2	4	6



スライド丁番



マグネットキャッチ



穴キャップ



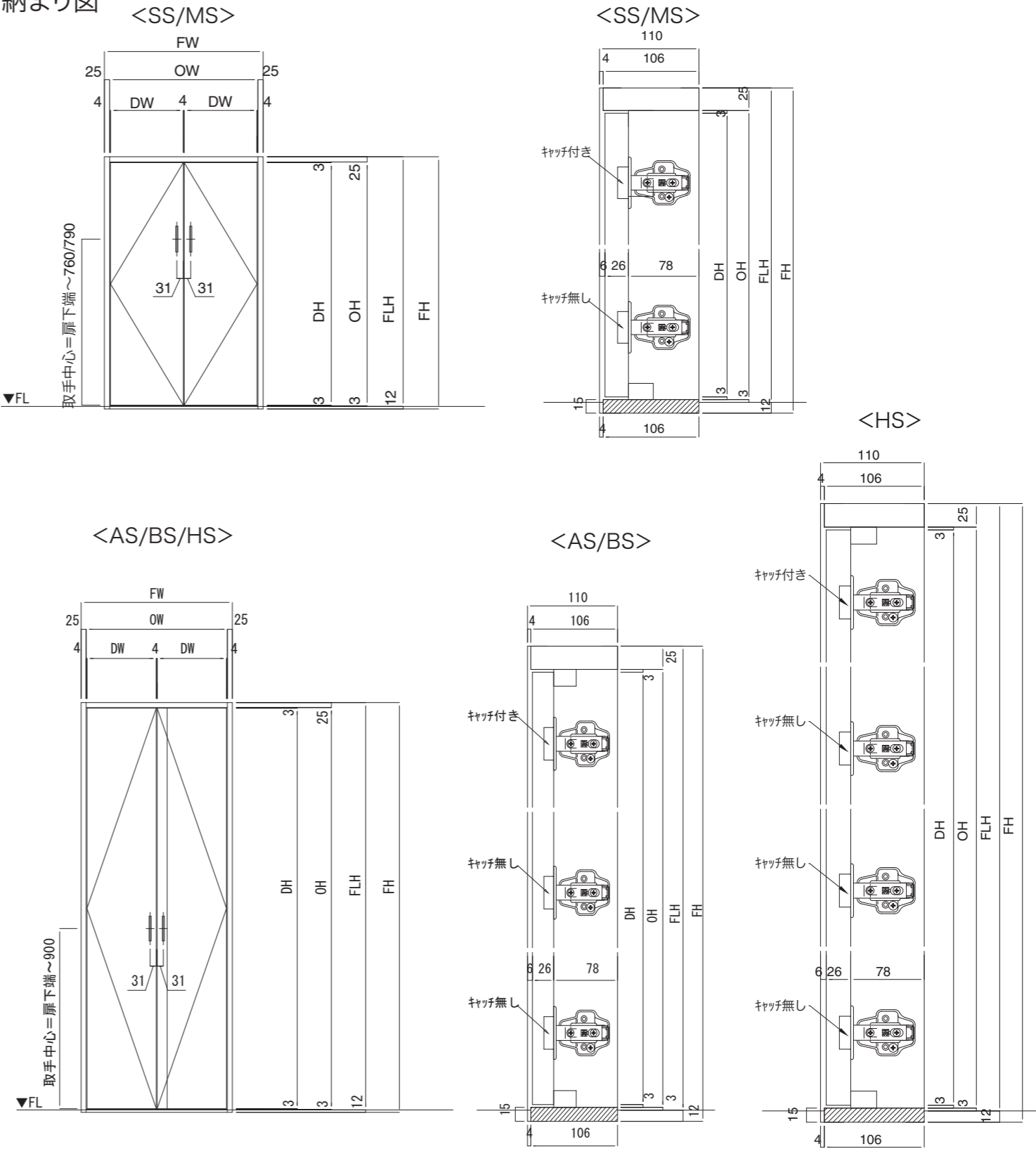
躯体取付ビス  
皿 4.2×62



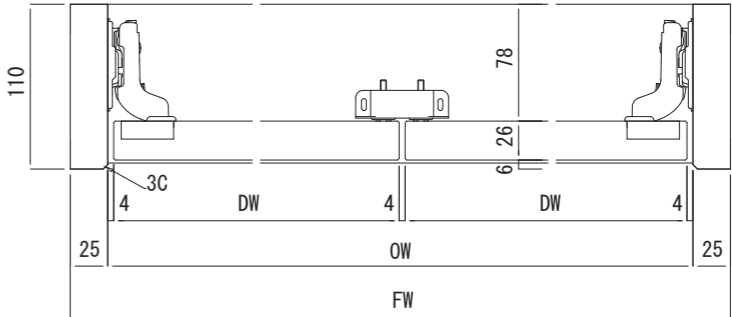
RD調整ビス46  
4.5×47

品番	FH	FW
SS	900	755
MS	1200	
AS	1840	
BS	2047	
HS	2340	

納まり図



横断面図



## 1. 枠の組立て・取付け

①枠を躯体に固定してください。

- ◆躯体取付ビス
- ◆RD調整ビス

**注意** 垂直・水平を必ず確認し、ねじれ・傾き・変形などないように施工してください。

②RD調整ビスで縦枠の建付けを調整してください。

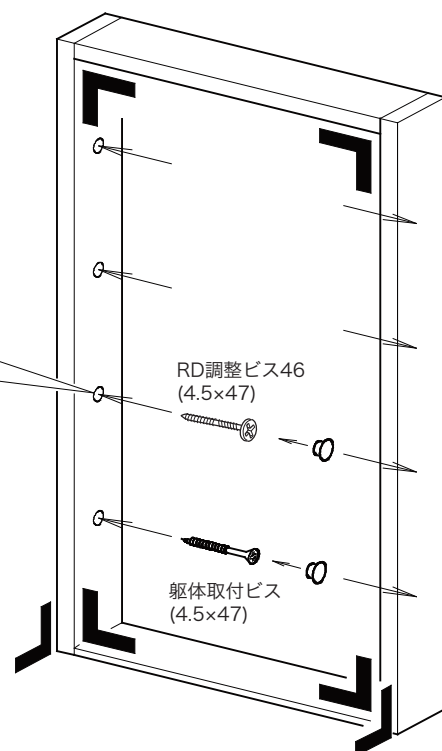
《調整ビスの使い方》

- 調整ビスは枠の固定と調整を兼用するビスです。
- 調整ビスで枠の下穴より躯体に取り付けてください。（プラスドライバー使用）
- 下げ振りなどで建付けを確認しながら、プラスドライバーでビスを回して調整してください。

**注意** RD調整ビスによる調整は、必ずボードを貼る前に行ってください。

③縦枠に穴キャップを取付けてください。

RD調整ビス46  
右 ⊕ = 枠が奥側へ  
左 ⊖ = 枠が手前側に



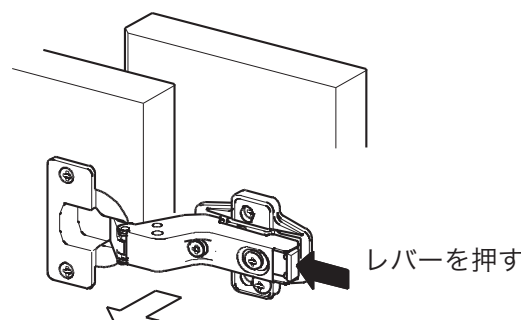
### 扉の取付け方・外し方

#### 取付け

ワンタッチで取り付けられます。  
スライド丁番を座金に押込んでください。

#### 取外し

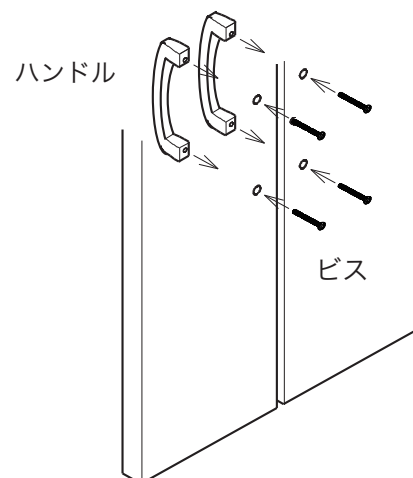
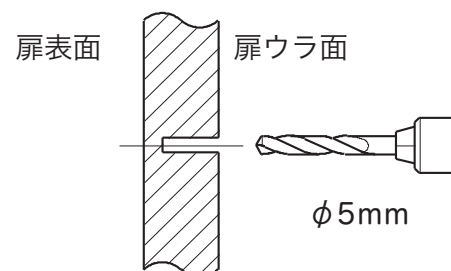
スライド丁番の後部のレバーを押します。  
丁番が座金から外れ扉が外れます。



## 2. 部品の取付け

<ハンドルの取付け>

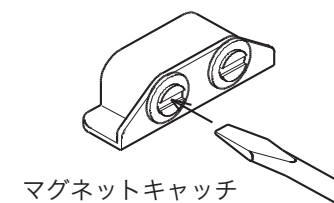
①ハンドルをビスで取り付けてください。  
扉の裏面から取付け穴をキリφ5で貫通させてください。



## 3. 建付け調整

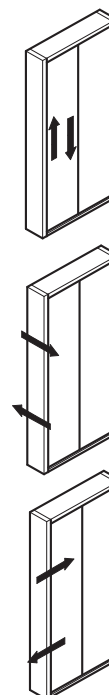
《戸先の前後調整》

マグネットキャッチの移動をすることで、戸先の前後調整ができます。  
マグネット部をマイナスドライバーで回してください。



《スライド丁番による調整》

スライド丁番で扉の調整ができます。



#### 上下調整

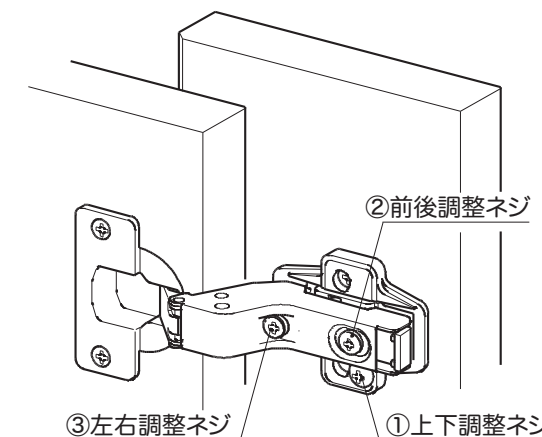
座金の①上下調整ネジをゆるめます。  
扉を上下に移動させた後締め直してください。

#### 前後調整

②前後調整ネジをゆるめます。  
扉を前後に移動させた後締め直してください。

#### 左右調整

③左右調整ネジを回すと、扉が左右に移動します。



## 施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
- ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
- ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないようにお手持ちの養生材等で枠・扉の養生を完全に行ってください。

養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

**△ ご注意 △** ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようお願いいたします。

※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。